

福島第一原子力発電所 4号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 1/26)

採取場所	4号機原子炉建屋 (排気フィルタ出口) (粒子状フィルタ)		4号機原子炉建屋 (排気フィルタ出口) (チャコールフィルタ)		4号機原子炉建屋 (SFP近傍) (粒子状フィルタ)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	2017年1月6日 10時20分 ~ 13時20分		2017年1月6日 10時20分 ~ 13時20分		2017年1月6日 10時43分 ~ 11時43分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

NDとは、 1×10^{-4} と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約 $9E-8$ Bq/cm³、Cs-134が約 $1E-7$ Bq/cm³、Cs-137が約 $9E-8$ Bq/cm³。

粒子状のI-131が約 $1E-7$ Bq/cm³、Cs-134が約 $9E-8$ Bq/cm³、Cs-137が約 $9E-8$ Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(データ集約：1/26)

採取場所	4号機原子炉建屋 (SFP近傍) (チャコールフィルタ)		4号機原子炉建屋 (チェンジング近傍) (粒子状フィルタ)		4号機原子炉建屋 (排気フィルタ入口) (粒子状フィルタ)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
試料採取日時刻	2017年1月6日 10時43分～11時43分		2017年1月6日 8時37分～9時37分		2017年1月6日 5時33分～6時33分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

． E- とは、 ． × 1 0⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約9E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。